

令和5年7月3日

積算システムにおける端数処理について（お知らせ）

積算システムにおける端数処理方法について、次のとおりお知らせいたします。

1. 端数処理方法の補足説明

(1) 反転・引込工【DGD32220】、硬化・形成工【DGD32230】

本歩掛における1日当り作業量は次式にて算出しており、計算結果については、小数第2位止め3位四捨五入としております。

$$1 \text{ 日当り作業量 (m/日)} = \{60 \text{ (分)} \times 8 \text{ (時間/日)}\} / \text{作業時間 (分)} \times \text{更生延長 (m)}$$

2. 令和5年7月設計以降における端数処理方法の変更点

(1) 本管口仕上工【DGD32280】

本歩掛における管口仕上材の1箇所当り使用量は次式にて算出し、計算結果については、小数第3位止め4位四捨五入とします。

$$1 \text{ 箇所当り使用量 (kg)} = 5.9 \text{ (kg/m)} \times \text{既設管径 (m)}$$

(2) 仮設備設置・撤去工【DGD32360】

本歩掛における1回当りの金額は、以下の順に算出します。

$$\text{①作業回数 (回)} = 480 \text{ 分} / \text{作業時間 (分)} : (\text{小数1位を四捨五入し、整数止め})$$

$$\text{②1回当りの金額} = 1 \text{ 日当りの合計金額} / \text{作業回数 (回)} : (\text{円未満切り捨て})$$

上下水道局下水道部下水道管路課

設計指導

電話 200-2892